

〔保育学科〕幼児体育指導者(2級)検定講習会

【受講者の声】

私はこの資格を取りたくてこの大学に入学したので、検定講習をとっても楽しみにしていました。受けてみたら思っていたよりずっと大変だったけど、とても濃い2日間となりました。体育の指導に関するだけでなく、保育現場で役立つちょっとした気持ちの持ち方や体遊びなども教えていただくことができ、想像以上に自分のためになった検定でした。今回学んだことを忘れず、これからも保育のプロフェッショナルになるために日々努力していきます。

坂本 万耶 さん(1年生／広島県立五日市高等学校出身)

想像以上に細かいところまで教えていただいたので、受講料が高くてもそれだけの価値のある資格だと思いました。テストではすごく緊張しました。しかし、子どもたちは私を手本にして運動していくし、子どもの安全を守るのも私なのだと思えて感じ、すごく気が引き締まりました。更新すれば一生使える資格なので大事にしていこうと思っています。

高畑 真衣 さん(1年生／広島県立竹原高等学校出身)

実際に補助側をやってみると難しかったです。幼児に安全に分かりやすく指導していけるようにするにはしっかりと知識と技術を持っていないといけないと改めて思いました。学んだことを現場に出たときに役立てられるように、しっかり覚えておきたいと思います。今回受講して良かったと心から思っています。

永井 美月 さん(1年生／広島県立高陽東高等学校出身)

難しかったけど、いざ現場に出たときに知っているのと知らないのでは全然違うと思いました。子どもに跳び箱などを安全に始動していくためにはきちんとした知識が必要だと実感しました。今回学んだことを現場で生かしていきたいと思っています。

青井 馨加 さん(2年生／広島県立廿日市西高等学校出身)

とても暑かったけど学科で学んだ子どもたちの発達のことや実技で学んだ補助の仕方など、とても大切なことをたくさん学べました。この資格を取ったことで保育者としての自信もつけることができました。現場で役立てていきたいです。

高原 千佳 さん(2年生／広島市立沼田高等学校出身)

2日間を通して、幼児に現場で教えるとき、子どもたちにわかりやすく安全に教えられる方法を学びました。学科では「動機づけ」や「全習・分習」について学び、それを実技講習の中で生かして学ぶことができました。実技では子どもたちにわかりやすく、安全に配慮した教え方や補助の仕方を学ぶことができ、現場で使えるようになりたいと思いました。

吉岡 亜未 さん(2年生／島根県・出雲西高等学校出身)